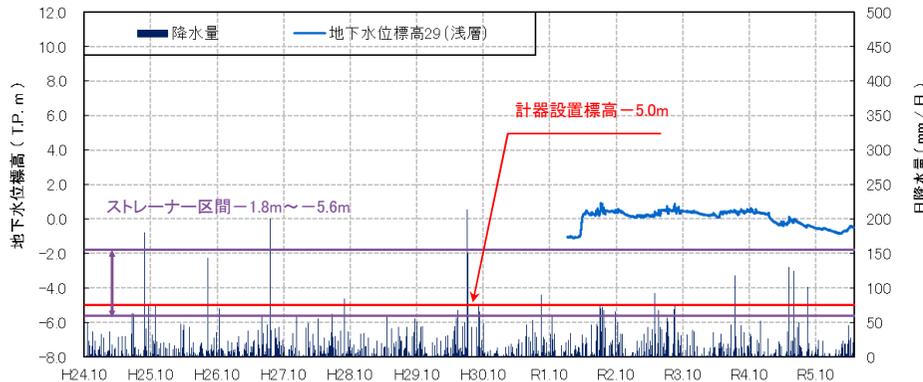


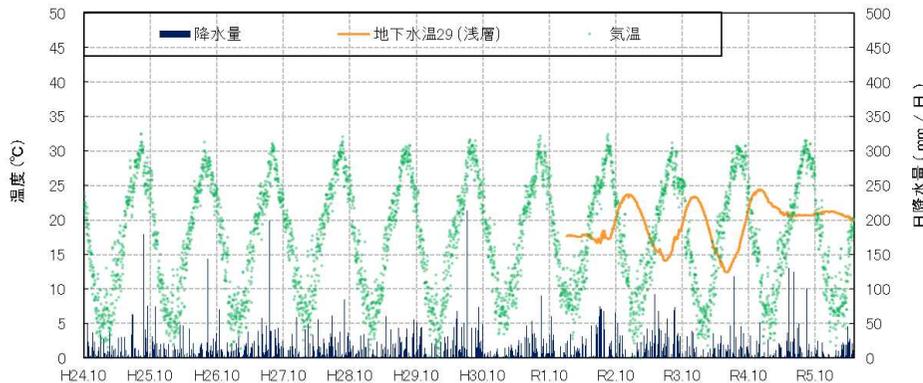
観測井番号:29(浅層)

【地下水水位】



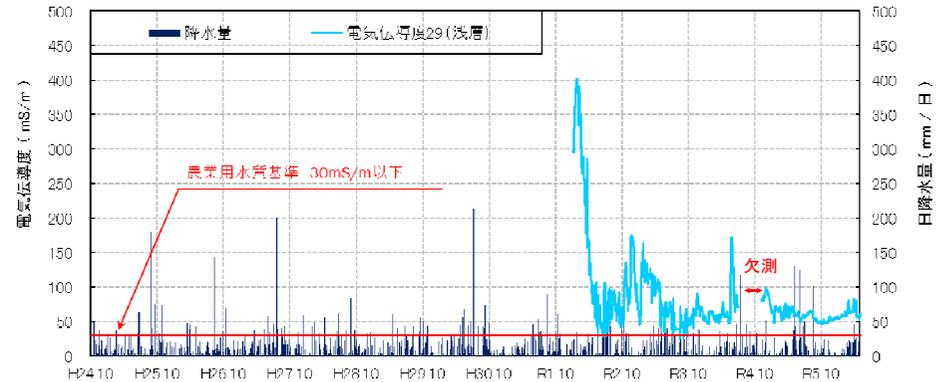
・地下水水位の観測開始時は河川工事の影響で、標高-1.0m程度と低かったが、令和2年4月に以降、標高0.5m前後となった。令和5年1月から緩やかに水位低下がみられていたが、令和6年3月頃から回復傾向にある。河川工事と関係なく低下を続けており、原因は不明である。

【地下水温】



・水温は、はじめ18°C程度であったが、令和2年8月頃から季節変動がみられるようになった。気温と比較して、概ね4か月ピークがずれている。令和5年1月頃から水温の周期の乱れがみられる。令和5年5月以降から概ね20°C前後である。

【電気伝導度】



【水質分析結果】

水質分析結果										
日付		R2 2.5	R3 2.24	R4 2.25	R5 2.8	R6 2.14				
分析項目	単位	値	値	値	値	値			水道水質基準	農業用水質基準
塩化物イオン	mg/L	1120	240	88	98	92			200mg/L 以下	
水素イオン濃度 (pH)	-	6.9	7.1	7.4	7.4	7.6			5.8以上8.6以下	6.0以上7.5以下
電気伝導度	mS/m	380	120	57	64	60				30mS/m以下

・電気伝導度は、農業用水質基準値(30mS/m)を超過し、R2.2.5とR3.2.24は塩化の指標である塩化物イオン濃度も水道水質基準値を超過する。R4.2.25以降、塩化物イオン濃度は基準値内である。
 ・水素イオン濃度は、R2.2.5～R5.2.8は水道水質基準、農業用水質基準ともに基準値内であった。R6.2.14の水素イオン濃度は農業用水質基準を超過するが、水道水質基準では基準値内である。